

競技注意事項

1. 競技規則

2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習会場

練習は、各競技の妨げにならない範囲で本競技場内を使用することができる。

3. ナンバーカード

- 1) 参加者はそれぞれの前年度の高体連ナンバーカードを使用すること。
1年生については前年度の3年生の番号を使用し、不足する場合は主催者から割り当てられたナンバーカードを使用すること。
- 2) 3000m・5000mの参加者は、前面に主催者が用意する特別ナンバーカードを着用すること。
- 3) 跳躍種目に出場する競技者のナンバーカードは前面もしくは後面のどちらか一方でもよい。
- 4) 1～16までの腰ナンバーカードは自校のものを使用すること。
ただし、17以降の腰ナンバーカードは主催者から貸し出す。

4. 招集

- 1) 当日のDNSは8：40までに本部脇にあるスタートリストに各自斜線を入れること。
- 2) 招集所は設置しない。スタート地点での現地確認のみとする。
※4×100mは競技開始20分前に第一走者スタート地点にてチーム全員で確認を受ける。
- 2) 現地確認時刻は競技日程に記載されているので確認すること。
- 3) リレーのオーダー用紙は8：30までに受付（本部）に一部提出すること。
※学校受付の際に参加料と一緒に提出することが望ましい。
- 4) 3000m・5000mは特別ナンバーカード（後面は自身のナンバーカード）をつけた状態で確認を行う。
- 5) 特別ナンバーカード・腰ナンバーカードはゼッケン係（本部前）にて貸出する。（返却も本部前）

5. 競技

【トラック競技】

- 1) スタートの合図は英語（「On Your Marks」「Set」「On Your Marks」）で行う。
- 2) 計時は写真判定システムを用いて行う。
- 3) 記録情報処理はアスリートランキングを用いて行う。
- 4) 不正スタートは1回で失格となる。
- 5) 長距離種目（3000m・5000m）の制限時間は設けない。
- 6) 気象状況によっては、3000m以上の種目では給水を実施する場合がある。
- 7) 3000m以上の種目については、できるだけ外側でフィニッシュすること。
- 8) **競技者の準備が整っていれば、5分程度をめどに、競技開始を早めることがある。**
- 9) 800m・3000m・5000mについてはグループスタートとする。

【フィールド競技】

- 1) 走高跳を除くフィールド競技は3回の試技とする（トップエイトは行わない）。
- 2) トラック種目とフィールド種目の同時申し込みについては競技会の特性上、試技順の変更は認めず、不在時はすべてパス扱いとする。
- 3) 走幅跳・三段跳はバックストレート側ピットを使用し、ホームスタンド側からA・B・Cとする。
とする。なお、三段跳の踏切板から砂場までの距離は現地で競技役員の指示に従うこと。
※A・Cピット（10m・12m・13m）・Bピット（8m・9m）が競技場既設の位置である。
- 4) 投てき用具は各校持込みのうえ、検査を受け合格したものを使用すること。
※検査は本部室前で 7時30分から行う。

6. その他

- 1) 競技会中に発生した傷害、疾病、事故等については各参加団体が責任をもって対応すること。
主催者では責任を負わない。
- 2) 本競技会では選手・役員全員が「傷害補償」に加入しているので、競技会中のケガや会場までの往復途上中の事故については補償の対象となる場合がある。競技会中に発生した事故・ケガにおいて医療機関を受診した場合はチーム代表者から主催者（担当：大森）に問い合わせること。
- 3) 参加チームで発生したゴミ等についてはすべて持ち帰ること。
- 4) 記録証の発行を希望の参加者は、総務に申し出ること。なお、競技会終了後に発行を希望する場合は、shibata.tf.omori@gmail.comに問い合わせること（担当：大森）。
- 5) 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- 6) 主催者が用意したナンバーカードは自身の競技終了後、必ずゼッケン係（本部前）に返却すること。